



(公財)水道技術研究センター
〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-28
K. I. S 飯田橋ビル 7F
TEL 03-5805-0264, FAX 03-5805-0265
E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL <https://www.jwrc-net.or.jp>

水道技術研究センターが実施してきた 産官学共同研究等の愛称とその由来について

公益財団法人水道技術研究センター(平成 24 年 4 月 1 日公益財団法人に移行)は、前身の社団法人水道浄水プロセス協会(平成 3 年 8 月 1 日設立)、財団法人水道管路技術センター(昭和 63 年 3 月 25 日設立)及び財団法人水道技術研究センター(平成 8 年 9 月 2 日設立)を含め、平成の時代から現在に至るまで、多くの産官学共同研究を実施してきました。また、そのそれぞれの産官学共同研究ごとに、研究テーマや取り組み内容に沿って、思いを込めた愛称をつけてきました。

水道ホットニュース第917号(令和 6 年 11 月 1 日配信)にて、各プロジェクトの愛称とその由来をお知らせいたしましたが、新規のプロジェクトも追加して、改めて取りまとめをいたしました。

【新規プロジェクト】

・第2期水道施設の新たな点検手法等に関する研究

愛称	Aqua-BridgeII (Aqua - Breakthrough Inspection Technology Designed for Great Effectiveness II)
事業目的	ICT 等新技術を活用した水道施設の点検方法等について、その手法の実用性、課題点の検証を行うとともに、必要に応じて可能な範囲で水道施設での実験を実施する。
事業期間	令和6～8年度

・水道管路劣化判断手法に関する研究

愛称	Aqua-Format (Aqua -For Optimal and Real Management of Asset)
事業目的	水道事業者が行っている管路の劣化診断の手法を調査し、劣化診断・判定方法に関する標準・共通フォーマットを検討する。
事業期間	令和 7 年度

1. 産官学共同研究(浄水技術分野)

年度	プロジェクト の愛称	読み方	プロジェクト名及び愛称の由来
平成 3 – 平成 5	<i>MAC21</i>	マック にじゅういち	膜利用型新浄水システム開発研究 (M embrane A qua C entury 21)
平成 6 – 平成 8	高度処理 <i>MAC21</i>	こうどしより マック にじゅういち	膜利用型新高度浄水技術開発研究 (高度処理 M embrane A qua C entury 21)
平成 9 – 平成 13	ACT21	アクト にじゅういち	高効率浄水技術開発研究 (A dvanced A qua C lean T echnology for 21 st C entury)
平成 14 – 平成 16	<i>e-Water</i>	イーウォーター	環境影響低減化浄水技術開発研究 (E nvironmental, E cological, E nergy saving and E conomical W ater Purification System)
平成 17 – 平成 19	<i>e-WaterII</i>	イーウォーター ツー	安全でおいしい水を目指した高度な浄水処理技術の確 立に関する研究 (<i>e-Water</i> の後継プロジェクト)
平成 20 – 平成 23	<i>Aqua10</i>	アクアテン	健康リスク低減のための新たな浄水プロセスの開発に関 する研究 (ラテン語で水を表す Aqua と研究目標年度 2010 年を 組み合わせた)
平成 24 – 平成 26	<i>J-Step</i>	ジェイステップ	しなやかな浄水システムの構築に関する研究 (日本の水道(J)を、しなやか(S)で耐久性(T)があり、エ コ(E)なシステムにステップアップするプロジェクト(P))
平成 27・10 – 平成 30・9	<i>A-Batons</i>	エーバトン	変化に対応した浄水技術の構築に関する研究 (A qua- B est A vailable T echnology on N ew S ystem(to Next Generation))
平成 30・10 – 令和 3・9	<i>A-Dreams</i>	エードリームス	多様な社会・技術に適応した浄水システムに関する研究 (A qua - D esirable, R eliable, E nhanced and A dvanced M anagement S ystem)
令和 3.10 – 令和 6・9	<i>A-MODELS</i>	エーモデル	水道の基盤強化に資する浄水システムの更新・再構築に 関する研究 (A qua- M odernly and O ptimally D esigned, E fficient and L eading S ystem)
令和 6.10 – 令和 9.3	<i>A-NEWWORK</i>	ニューワーク	浄水分野における新たな維持管理技術及び運営手法に 関する研究 (A qua - N ew and E fficient W ater treatment W orks O peration and R elating K nowledge)

2. 産官学共同研究(管路技術分野)

年度	プロジェクト の愛称	読み方	プロジェクト名及び愛称の由来
平成 14 – 平成 16	<i>Epoch</i>	エポック	水資源の有効利用に資するシステムの構築に関する研究 (Effective water use in P ipeline O peration Considering H igh quality)
平成 17 – 平成 19	<i>New Epoch</i>	ニューエポック	管路施設の機能診断・評価に関する研究 (New Evaluation and diagnosis of P ipeline functions by O bserving pipe C haracteristics)
平成 20 – 平成 22	<i>e-Pipe</i>	イーパイプ	持続可能な水道サービスのための管路技術に関する研 究 (enhancement of P ipe renewal)
平成 23 – 平成 25	<i>Pipe Stars</i>	パイプスターズ	次世代の水道管路に関する研究 (P ipelines for S table and R eliable Water System)
平成 26 – 平成 28	<i>Rainbows</i>	レインボウズ	将来の不確実性に対応した水道管路システムの再構築 に関する研究 (R eliable, A dvanced and I nnovative Network for B uilding O ptimum Water System)
平成 29 – 令和元	<i>Pipe Σ</i>	パイプシグマ	人口減少社会における水道管路システムの再構築及び 管理向上策に関する研究 (水道界全員の英知により、管路再構築と維持管理手法 の確立を成し遂げる」という思いから総和を意味する「シ グマ」を引用し、英知の総和を図ることで実りあるプロジ ェクト成果を収める願いを込めて、「Pipe Σ (パイプシグ マ)」とした。)
令和 2 – 令和 4	<i>New Pipes</i>	ニューパイプス	水道の基盤強化に資する管路の構築及び情報活用に関 する研究 (N ew Era in W ater P ipeline I nfrastructure P romotion, E nhancement and S trength)
令和 5 – 令和 7	<i>STAMPS</i>	スタンプス	強靱で高度な水道管路システムに関する研究 (S tudy of T ough and A dvanced M anagement for Water P ipeline System)

3. その他の研究等

年度	プロジェクト の愛称	読み方	プロジェクト名及び愛称の由来
平成 28 –	<i>A-IDEA</i>	エーアイデア	公募型実証研究 (Aqua- Innovation, Demonstration, Evaluation & Application)
平成 29 – 令和 4	<i>A-Smart</i>	エースマート	A-Smart プロジェクト (Aqua –Sustainable, Manageable and Reliable Technology)
令和元 – 令和 2	UV-ACE	ユーブイエース	紫外線水処理技術適用拡大プロジェクト (Ultraviolet Application, Combination and Extension)
令和 4 – 令和 5	第 2 期 UV-ACE	だい2き ユーブイエース	第 2 期紫外線水処理技術適用拡大プロジェクト (Ultraviolet Application, Combination and Extension)
令和 2 – 令和 3	<i>A-MARINE</i>	エーマリン	海底送・配水管の維持管理・更新に関する研究 (Aqua - Marine Reliable Infra Network)
令和 3 –	<i>Aqua-LIST</i>	アクアリスト	水道施設の点検を含む維持・修繕に関する新技術事例集 (Aqua - Leading, Innovative and Sustainable Technology)
令和 4 – 令和 5	Aqua-Bridge	アクアブリッジ	水道施設の新たな点検手法等に関する研究 (Aqua - Breakthrough Inspection Technology Designed for Great Effectiveness)
令和 5 – 令和 6	Aqua-TANK	アクアタンク	矩形地上水槽(鋼製)の耐震設計に関する研究 (Aqua – Technical Assessments by New Knowledge)
令和 5 – 令和 7	<i>New-Smart</i>	ニュースマート	New-Smart プロジェクト (Next Era for Water – Sustainable, Manageable and Reliable Technology)
令和 6 – 令和 8	<i>Aqua-PFAS</i>	アクアピーファス	浄水処理における PFAS の除去等に関する研究 (Aqua - Practical, Feasible and Advanced Systems)
令和 6 – 令和 8	Aqua-Bridge II	アクアブリッジツー	第2期水道施設の新たな点検手法等に関する研究 (Aqua - Breakthrough Inspection Technology Designed for Great Effectiveness II)
令和 7	Aqua-Format	アクアフォーマット	水道管路劣化判断手法に関する研究 (Aqua –For Optimal and Real Management of Asset)

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K.I.S飯田橋ビル7F (公財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL:jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー(第58号以降)は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <https://www.jwrc-net.or.jp/publication-outreach/hotnews/>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。